

「地域密着型金融推進計画」
進捗状況表

自 平成17年4月 1日

至 平成18年9月30日

アイオー信用金庫

目 次

. 「地域密着型金融推進計画」について

. 平成 17 年 4 月から平成 18 年 9 月までの進捗状況について

1 . 大項目毎の進捗状況について

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

(2) 経営力の強化

(3) 地域の利用者の利便性向上

(4) 進捗状況の公表

2 . 個別の取組み状況の要約

・「地域密着型金融推進計画」について

当金庫では、平成 17 年 3 月 29 日に金融庁より発表された「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき「地域密着型金融推進計画」を策定いたしました。

この推進計画は、当金庫が平成 15 年度から平成 16 年度の 2 年間に取組みました「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に引き続き、「地域にとってなくてはならない金融機関を構築していくこと」を踏まえ、中小企業の再生と地域経済の活性化を図り、皆さまのお役に立つため、また、「地域の皆さまに信頼され、安心してお取引していただける金庫」となるため、平成 18 年度までの取組み姿勢を記載しております。

また、当金庫と地域社会との関わり及び経営理念並びに経営方針については、当ホームページ及びディスクロージャー誌に掲載しておりますので、併せてご高覧いただき当金庫の取組み姿勢にご理解とご支援をお願い申し上げます。

・平成 17 年 4 月から平成 18 年 9 月までの進捗状況について

標記、「地域密着型金融推進計画」について、平成 17 年 4 月から平成 18 年 9 月までの取組み状況を公表いたします。

1. 大項目毎の進捗状況について

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

イ 創業・新事業支援機能等の強化

(イ) 新規創業支援商品「セットアップ」の推進

新規創業を支援するための当金庫独自の融資商品である「セットアップ」について、累計 8 件 29,700 千円（うちベンチャー支援センターとの連携案件 4 件 15,500 千円）の取扱い実績を上げました。

(ロ) 提携した政府系金融機関との情報交換や協調投融資等の模索

商工組合中央金庫、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫と情報交換を実施しております。

- (ハ) 地区ベンチャー支援センター等との個別案件の対応に取り組んでまいります。
地区ベンチャー支援センターとの個別相談対応 5 件のうち、融資取扱い 4 件 15,500 千円の実績を上げました。

□ 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化

- (イ) 経営支援室を中心に地元商工会議所及び政府系金融機関等との連携強化を図ります。
伊勢崎商工会議所と毎月情報交換を実施しております。
- (ロ) 群馬県産業支援機構の機能を活用して、中小企業の販路拡大等の支援に取り組めます。
平成 17 年 5 月・6 月・7 月・11 月・12 月・平成 18 年 3 月・6 月に、情報交換を実施いたしました。
また、取引先企業を「ぐんまビジネスプラザ」へ参加推薦を行い、ビジネスチャンスの拡大に協力しております。
- (ハ) 経営改善指導を通して、取引先の債務者区分のランクアップに努め、平成 18 年度末までに経営支援抽出先 75 先のうち 10 先のランクアップを図り、平成 16 年度末現在の不良債権比率 10.13%を 9.00%に改善することを目標としております。
平成 18 年 3 月期では、債務者区分のランクアップ 9 先を達成し、不良債権比率は 8.27%に改善いたしました。目標を 1 年前倒して、ほぼ達成できました。
平成 18 年度においては、経営支援先を 51 先とし、引き続き経営支援に取り組んでおります。
- (ニ) 経営支援スキルの向上のため、関連団体主催の研修会に参加し、また中小企業診断士及びファイナンシャルプランナー養成に努めます。
中小企業診断士資格取得のため通信講座を 8 名が受講し、ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のための通信講座を 4 名が受講しております。
なお、2 級ファイナンシャルプランニング技能士に 3 名が合格しております。
その他、関連団体の研修会に参加しております。

八 事業再生のための支援及び担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

(イ) 当金庫の独自の取組みである企業育成・再生支援ローン「サポート 」を引き続き推進いたします。

「サポート 」については、累計で 99 件 409,700 千円の取扱い実績を上げております。

(ロ) 売掛債権担保融資保証の推進

累計で 69 件 175,020 千円の取扱い実績を上げております。

二 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化

(イ) 地域の利用者との相互理解を深めるために、与信取引に関する説明態勢にかかる内部規則を制定しており、さらに、これを徹底させるための研修会を引き続き実施いたします。

17 年 6 月・7 月・9 月・11 月・18 年 6 月・7 月・9 月に、融資担当役席者会議において規則の周知徹底を行っております。

(ロ) 顧客からの苦情については、コンプライアンス室が窓口となり一元対応するとともに、受付した苦情等は教育研修を通して営業店へ還元いたします。

17 年 9 月・18 年 1 月・9 月に、コンプライアンス担当者集合研修会において苦情の実例を還元しております。

(2) 経営力の強化

地域密着型金融を推進するためには、協同組織の精神である共存共栄を踏まえ、取引先とともに当金庫も健全経営を維持していくことが重要であります。

具体的には、次の施策を実施してまいります。

イ リスク管理態勢の充実

(イ) 信用リスク管理については、適切な自己査定を実施するため、17 年 12 月に査定部署を対象とした研修会を実

施しております。

- (ロ) 市場リスク管理については、野村証券のシステムを導入しており、引き続き同システムにより管理してまいります。

現在、同システムにより管理を行っております。

- (ハ) 収益管理態勢の整備のために導入した、企業信用格付システムのデータをより一層収集し、リスクに見合った適正な金利設定を行うための内部基準の整備を進めます。

現在、同システムのデータ収集を行っております。

- (ニ) 監査法人との意見交換を実施いたします。

監査法人の監査を受け、意見交換を実施しております。

- (ホ) 当金庫の経営内容を開示するために、半期情報ディスクロージャー誌を引き続き作成し開示してまいります。

平成 17 年 9 月期の半期情報ディスクロージャー誌は、11 月末に縦覧開始しております。

平成 18 年 9 月期の半期情報ディスクロージャー誌は、11 月末までに縦覧開始予定です。

ロ ガバナンスの強化

- (イ) 総代会制度について、地域の利用者に広く知っていただくために、ディスクロージャー誌に「総代会の仕組み」、「総代の選考方法」、「総代候補者選考基準」、「総代会の決議事項等」、「総代の氏名」を引き続き開示してまいります。

平成 16 年度・平成 17 年度のディスクロージャー誌により公表しております。

ハ 法令遵守（コンプライアンス）態勢の強化

- (イ) コンプライアンス室を中心として、コンプライアンス研修会を実施し、教育研修に努めます。

17 年 9 月・18 年 1 月・9 月に、コンプライアンス担当者集合研修会を実施いたしました。

また、18 年 3 月に、新入職員コンプライアンス研修を実施いたしました。

(ロ) 適切な顧客情報の管理のために、「個人情報保護点検要領」を定め、自主点検を実施し、監査部監査も実施してまいります。

平成 17 年 7 月から、個人情報保護に関する自主点検を毎月実施しております。

(ハ) 個人情報保護について教育研修会を実施し、適切な取扱いの徹底を図ってまいります。

平成 17 年 7 月から 9 月にかけて、個人情報保護研修会を実施いたしました。

平成 18 年は、8 月から臨店指導を順次実施しております。

(3) 地域の利用者の利便性向上

当金庫は、「地域の皆さまに信頼され、安心してお取引していただける金庫となる」ことを経営理念の中に掲げております。そのためには、地域の利用者の声に耳を傾け、利用者のニーズを的確に把握し、業務運営に反映させることが重要と認識しております。

(イ) 苦情・相談等に関する内部規則及び顧客への説明態勢に関する内部規則について検証を行い、必要な見直しを検討する。

顧客への説明態勢に関する内部規則について、その実施状況を継続して検証してまいります。

(ロ) 当金庫に寄せられる苦情・相談につきましては、今後もコンプライアンス室が窓口となり、一元対応するとともに、受付した苦情・相談の中で改善が必要と思われるものは、改善・対応を図ってまいります。

(ハ) 苦情・相談の内容等を定期的に常勤理事会へ報告し、役員自らも利用者の声の把握に努めてまいります。

苦情の受付状況は、常勤理事会に報告しております。

(ニ) 利用者の声を積極的に取り入れ、利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し、この結果を踏まえ、商品・サービスの改善策を検討し業務運営に反映させてまいります。

18 年 1 月にアンケートを実施し、その結果を踏まえた改善策を 18 年 5 月・7 月に実施いたしました。

アンケートの状況及び改善策の実施状況は、18 年 6 月にホームページにおいて公表しております。

なお、現在当金庫は、地域の利用者の利便性向上のため、2 か店で土・日営業、夜間営業、3 か店で休日相談会を実施しております。その中で、年金・住宅ローン相談業務は利用者から休日にも利用できることについて

て評価を得ており、今後も継続推進してまいります。

(4) 進捗状況の公表

これらの取組みの進捗状況は、今後も半期ごとにディスクロージャー誌及びホームページによりできる限り開示してまいります。

以 上

地域密着型金融推進計画の進捗状況（個別の取り組み項目の要約）

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化						
(1) 創業・新事業支援機能等の強化						
融資審査能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・融資担当者の集合研修の実施 ・審査トレーナー研修の実施 ・外部研修への積極的参加 ・中小企業診断士の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資担当者の集合研修の実施 ・審査トレーナー研修の実施 ・外部研修への積極的参加 ・中小企業診断士の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資担当者の集合研修の実施 ・審査トレーナー研修の実施 ・外部研修への積極的参加 ・中小企業診断士の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資担当者の集合研修の実施 ・審査トレーナー研修の実施 ・外部研修への積極的参加 ・中小企業診断士の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資担当者の集合研修の実施 ・外部研修への積極的参加 ・中小企業診断士の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年6月、7月、9月、11月、18年3月、6月、7月、9月 融資担当役 席者会議の実施 ・17年9月～11月 審査トレーナー研修の実施(実施人員15名) ・17年5月 群馬県信用金庫協会主催「第11回融資審査・管理講座」へ職員3名派遣 ・17年6月 群馬県信用金庫協会主催「第2回・3回目利き力養成講座」へ職員3名派遣 ・17年8月 群馬県信用金庫協会主催「企業再生支援研修会」へ職員4名派遣 ・17年10月 日本商工会議所主催「第二創業塾」へ職員1名派遣 ・17年12月 財務分析研修の実施 ・18年4月 商工中金が取組む「流動資産一体担保型融資」について勉強会を実施 ・18年9月 群馬県信用金庫協会主催「第22回財務講座」へ職員2名派遣 ・18年9月 群馬県信用金庫協会主催「第12回融資審査・管理講座」へ職員2名派遣 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座受講8名 ・ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のため通信講座受講4名
起業・事業展開に資する情報の提供、創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の機能の利用 ・地区ベンチャー支援センターとの情報交換と個別案件の対応 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、商工組合中央金庫との情報交換及び協調投融資等の連携強化 ・「セットアップ」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の機能の利用 ・地区ベンチャー支援センターとの情報交換と個別案件の対応 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、商工組合中央金庫との情報交換及び協調投融資等の連携強化 ・「セットアップ」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の機能の利用 ・地区ベンチャー支援センターとの情報交換と個別案件の対応 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、商工組合中央金庫との情報交換及び協調投融資等の連携強化 ・「セットアップ」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の機能の利用 ・地区ベンチャー支援センターとの情報交換と個別案件の対応 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、商工組合中央金庫との情報交換及び協調投融資等の連携強化 ・「セットアップ」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の機能の利用 ・地区ベンチャー支援センターとの情報交換と個別案件の対応 ・中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、商工組合中央金庫との情報交換及び協調投融資等の連携強化 ・「セットアップ」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年5月、6月、7月、11月、12月、18年3月、6月 群馬県産業支援機構との情報交換を実施 ・17年7月、18年7月 群馬県産業支援機構主催「ぐんまビジネスプラザ」参加企業の推薦 ・地域ベンチャー支援センターとの情報交換と個別案件の対応(個別案件対応件数5件、うち融資実行件数4件、15,500千円) ・17年6月、7月、8月、10月、12月、18年4月、5月、6月 商工組合中央金庫との情報交換を実施 ・17年11月 中小企業基盤整備機構との新連携に関する情報交換を実施 ・17年12月 国民生活金融公庫との情報交換を実施 ・17年12月、18年1月、3月 中小企業金融公庫との情報交換を実施 ・18年8月 群馬県産業支援機構「県内18金融機関連携担当者会議」に職員1名出席 ・18年8月 群馬大学工学部「企業懇談会全体会」に職員2名出席 ・新規創業融資商品「セットアップ」の推進(実績8件、29,700千円、うちベンチャー支援センターとの連携案件4件、15,500千円)

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(2)取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化						
中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、政府系金融機関との一層の連携強化 ・群馬県産業支援機構主催「ぐんまビジネスプラザ」への協賛並びに取引先の推薦 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢崎商工会議所との情報交換を毎月実施 ・17年6月、7月、8月、10月、12月、18年4月、5月、6月 商工組合中央金庫との情報交換を実施 ・17年7月、18年7月 群馬県産業支援機構主催「ぐんまビジネスプラザ」の協賛並びに参加企業の推薦を実施 ・17年11月、12月、18年3月、6月 群馬県産業支援機構との情報交換を実施 ・17年11月 中小企業基盤整備機構との新連携に関する情報交換を実施 ・17年12月 国民生活金融公庫との情報交換を実施 ・17年12月、18年1月、3月 中小企業金融公庫との情報交換を実施 ・18年8月 群馬県産業支援機構「県内18金融機関連携担当者会議」に職員1名出席 				
中小企業支援スキルの向上を目的とした取組み強化	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体が主催する研修会等への職員派遣 ・中小企業診断士の養成 ・群馬県産業支援機構、政府系金融機関、地元商工会議所等の外部機関との情報交換 ・中小企業基盤整備機構の機能の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体が主催する研修会等への職員派遣 ・中小企業診断士の養成 ・群馬県産業支援機構、政府系金融機関、地元商工会議所等の外部機関との情報交換 ・中小企業基盤整備機構の機能の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体が主催する研修会等への職員派遣 ・中小企業診断士の養成 ・群馬県産業支援機構、政府系金融機関、地元商工会議所等の外部機関との情報交換 ・中小企業基盤整備機構の機能の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体が主催する研修会等への職員派遣 ・中小企業診断士の養成 ・群馬県産業支援機構、政府系金融機関、地元商工会議所等の外部機関との情報交換 ・中小企業基盤整備機構の機能の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体が主催する研修会等への職員派遣 ・中小企業診断士の養成 ・群馬県産業支援機構、政府系金融機関、地元商工会議所等の外部機関との情報交換 ・中小企業基盤整備機構の機能の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年6月 群馬県信用金庫協会主催「第2回・3回目力き力養成講座」へ職員3名派遣 ・17年8月 群馬県信用金庫協会主催「企業再生支援研修会」へ職員4名派遣 ・17年8月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「第1回金融機関実務者連絡協議会」へ職員2名派遣 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座受講8名 ・ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のため通信講座受講4名 ・伊勢崎商工会議所との情報交換を毎月実施 ・17年6月、7月、8月、10月、12月、18年4月、5月、6月 商工組合中央金庫との情報交換を実施 ・17年5月、6月、7月、11月、12月、18年3月、6月 群馬県産業支援機構との情報交換を実施 ・17年11月 中小企業基盤整備機構との新連携に関する情報交換を実施 ・17年12月、18年1月、3月 中小企業金融公庫との情報交換を実施 ・17年12月 国民生活金融公庫との情報交換を実施 ・18年4月 商工中金が取組む「流動資産一体担保型融資」について勉強会を実施 ・18年8月 群馬県産業支援機構「県内18金融機関連携担当者会議」に職員1名出席 ・18年9月 群馬県信用金庫協会主催「第2回財務講座」へ職員2名派遣 ・18年9月 群馬県信用金庫協会主催「第12回融資審査・管理講座」へ職員2名派遣

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備 考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
<p>要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化及び実績の公表</p>	<p>・経営支援室と営業店が一体となり経営改善指導・支援に取り組む ・教育研修により審査能力及び経営支援スキルの向上に努める ・不良債権比率は、平成16年度末現在10.13%を平成18年度末までに9.00%に改善する ・債務者区分のランクアップは、平成17年度抽出先75先のうち平成18年度末までに10先のランクアップを図る ・経営支援実績を公表</p>	<p>・経営改善指導及び支援の実施 ・中小企業診断士、ファイナンシャルプランナーの育成 ・関連団体主催の研修会に参加 ・債務者管理を徹底・体制整備状況及び経営支援取組み先数、債務者のランクアップ実績等をディスクロ誌等で公表</p>	<p>・要注意先以下の債務者を対象に75先を抽出、経営改善指導及び支援を実施 ・中小企業診断士資格取得のための通信講座受講8名 ・ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のため通信講座受講4名 ・17年6月 群馬県信用金庫協会主催「第2回・3回目利き力養成講座」へ職員3名派遣 ・17年8月 群馬県信用金庫協会主催「企業再生支援研修会」へ職員4名派遣 ・17年8月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「第1回金融機関実務者連絡協議会」へ職員2名派遣 ・17年5月～6月 既存債務者の管理状況の把握及び整理・回収方針を決定するため、営業店への臨店を実施 ・17年10月 ファイナンシャルプランニング技能士3名合格 ・17年9月～10月 17年度2回目の管理債権の現状把握と整理・回収状況の確認等に関する営業店臨店を実施 ・17年12月 財務分析研修を実施 ・16年度末現在の不良債権比率10.31%を17年度末現在8.27%に改善 ・債務者区分のランクアップとして、17年度抽出先75先のうち、9先をランクアップ ・平成18年度経営支援先を洗い替えにより51先を抽出、経営改善指導及び支援を実施 ・18年6月～7月 既存債務者の管理状況の把握及び整理・回収方針を決定するため、営業店への臨店を実施 ・進捗状況については、18年5月にホームページにて公表するとともに18年7月にディスクロ誌にて公表</p>			

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備 考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(3)事業再生に向けた積極的取組み						
事業再生の早期着手に向けた取り組みの促進(プリパッケージ型事業再生や私的整理ガイドラインの積極的活用等)	本部・営業店が一体となって経営改善に向けた支援を引き続き行う 民事再生法等を活用した事業再生が必要と認められた債務者については、弁護士・会計士の指導のもと取り組む	・経営支援室による経営改善指導及び支援を行う ・関連団体が主催する研修会等に参加 ・民事再生法等を活用した事業再生に関する情報収集	・経営支援室による経営改善指導及び支援を行う ・関連団体が主催する研修会等に参加 ・民事再生法等を活用した事業再生に関する情報収集	・経営支援室による経営改善指導及び支援を行う ・関連団体が主催する研修会等に参加 ・民事再生法等を活用した事業再生に関する情報収集	・経営支援室による経営改善指導及び支援を行う ・民事再生法等を活用した事業再生に関する情報収集	・要注意先以下の債務者を対象に75先を抽出、経営改善指導及び支援を実施 ・民事再生法等を活用した事業再生に関する情報収集のため、関連団体が主催する研修会等に参加 ・17年5月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「17年度第1回全体会議」へ職員1名派遣 ・17年7月 全国信用金庫協会主催「地域密着型金融推進計画」等に関する説明会へ職員2名派遣 ・17年7月 関東信用金庫協会主催「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に関するフォローアップ勉強会へ職員2名派遣 ・17年8月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「第1回金融機関実務者連携会議」へ職員2名派遣 ・17年8月 群馬県信用金庫協会主催「企業再生支援研修会」へ職員4名派遣 ・17年12月、18年2月 商工組合中央金庫との個別協調案件協議を実施 ・債務者区分のランクアップとして、17年度抽出先75先のうち、9先をランクアップ ・18年4月、5月、6月 商工組合中央金庫との個別協調案件協議を実施 ・平成18年度経営支援先を洗い替えにより51先を抽出、経営改善指導及び支援を実施

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備 考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
多様な事業再生手法の一層の活用	関連団体が主催する研修会等への参加による情報収集に取り組む	関連団体が主催する研修会等への参加による情報収集	関連団体が主催する研修会等への参加による情報収集	関連団体が主催する研修会等への参加による情報収集	関連団体が主催する研修会等への参加による情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な事業再生手法に関する情報収集のため、関連団体が主催する研修会等に参加 ・17年5月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「17年度第1回全体会議」へ職員1名派遣 ・17年7月 全国信用金庫協会主催「地域密着型金融推進計画」等に関する説明会へ職員2名派遣 ・17年7月 関東信用金庫協会主催「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に関するフォローアップ勉強会へ職員2名派遣 ・17年8月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「第1回金融機関実務者連携会議」へ職員2名派遣 ・17年8月 群馬県信用金庫協会主催「企業再生支援研修会」へ職員4名派遣 ・18年1月 中小企業金融公庫によるCLO庫内説明会を実施 ・18年3月 民間債権回収機関、経営サポート機関の2社と起業再生事例等の情報交換を実施 ・18年4月 商工中金が取組む「流動資産一体担保型融資」の勉強会を実施 ・18年9月 信金中金による「信用金庫保証付私募債」の勉強会を実施
外部機関の事業再生機能の一層の活用、金融実務に係る専門的人材・ノウハウの活用	群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を通じ、同協議会の機能を有効活用する	群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を通じ、同協議会の機能を有効活用する	群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を通じ、同協議会の機能を有効活用する	群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を通じ、同協議会の機能を有効活用する	群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を通じ、同協議会の機能を有効活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・17年5月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「17年度第1回全体会議」へ職員1名派遣 ・17年5月 群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を実施 ・17年8月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「第1回金融機関実務者連携会議」へ職員2名派遣 ・17年11月 群馬県中小企業再生支援協議会へ個別案件持ち込み ・17年12月 群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を実施 ・18年1月 群馬県中小企業再生支援協議会の個別案件二次対応決定 ・18年1月 中小企業金融公庫によるCLO庫内説明会を実施 ・18年3月 民間債権回収機関、経営サポート機関の2社と起業再生事例等の情報交換を実施 ・18年4月 群馬県中小企業再生支援協議会平成18年度全体会議に 担当常務理事出席 ・18年5月、7月、8月 群馬県中小企業再生支援協議会2次対応先打合せ会議に出席 ・18年6月、9月 群馬県中小企業再生支援協議会との情報交換を実施 ・18年8月 群馬県中小企業再生支援協議会金融機関実務者連携会議に出席

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備 考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
再生企業に対する支援融資の拡充	・関連団体が主催する研修会等への参加 ・支援融資手法に関する情報収集	・関連団体が主催する研修会等への参加 ・支援融資手法に関する情報収集	・関連団体が主催する研修会等への参加 ・支援融資手法に関する情報収集	・関連団体が主催する研修会等への参加 ・支援融資手法に関する情報収集	・関連団体が主催する研修会等への参加 ・支援融資手法に関する情報収集	・法的再生手続に至った企業に対する支援融資手法に関する情報収集のため、関連団体が主催する研修会等に参加 ・17年5月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「17年度第1回全体会議」へ職員1名派遣 ・17年7月 全国信用金庫協会主催「地域密着型金融推進計画」等に関する説明会へ職員2名派遣 ・17年7月 関東信用金庫協会主催「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に関するフォローアップ勉強会へ職員2名派遣 ・17年8月 群馬県中小企業再生支援協議会主催「第1回金融機関実務者連携会議」へ職員2名派遣 ・17年8月 群馬県信用金庫協会主催「企業再生支援研修会」へ職員4名派遣 ・18年1月 中小企業金融公庫によるCLO庫内説明会を実施 ・18年4月 商工中金が取組む「流動資産一体担保型融資」の勉強会を実施 ・18年9月 信金中金による「信用金庫保証付私募債」の勉強会を実施
再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有の一層の推進	ディスクロ誌、ホームページにより経営支援実績と成功事例を開示する	ディスクロ誌、ホームページにより経営支援実績と成功事例を開示する	ディスクロ誌、ホームページにより経営支援実績と成功事例を開示する	・17年度経営支援実績と成功事例等は、18年5月末までにホームページにて開示し、18年7月末までにディスクロ誌にて情報開示する	・17年度経営支援実績と成功事例等は、18年5月末までにホームページにて開示し、18年7月末までにディスクロ誌にて情報開示する	・17年度経営支援実績と成功事例等は、18年5月末までにホームページにて開示し、18年7月末までにディスクロ誌にて情報開示する

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等						
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用格付システムの運用推進 ・大口与信先の管理(業況ヒアリングの実施) ・「サポート」の推進 ・スコアリングモデルの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用格付システムの運用推進 ・大口与信先の管理(業況ヒアリングの実施) ・「サポート」の推進 ・スコアリングモデルの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用格付システムの運用推進 ・大口与信先の管理(業況ヒアリングの実施) ・「サポート」の推進 ・スコアリングモデルの試行 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用格付システムの運用推進 ・大口与信先の管理(業況ヒアリングの実施) ・「サポート」の推進 ・スコアリングモデルの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用格付システムの運用推進 ・大口与信先の管理(業況ヒアリングの実施) ・「サポート」の推進 ・スコアリングモデルの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己査定法人抽出先781先の格付けを行い、整合率72.98%を確保 ・17年5月、8月 大口与信先(上位20先)を中心に業況ヒアリングを実施 ・18年3月 指定債務者に対する業況ヒアリングを実施 ・18年6月 (株)オービック主催「総合融資審査支援システム研究セミナー」へ職員2名派遣 ・18年8月 指定債務者に対する業況ヒアリングを実施 ・18年9月末現在、自己査定法人抽出先775先の格付けを行う。(整合率67.87%) ・企業育成・再生支援ローン「サポート」を推進(18年9月末現在実績実行件数99件、実行金額409,700千円)
中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権担保融資保証制度の推進 ・関連団体が主催する研修会に参加し情報収集を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・売掛債権担保融資保証制度の推進 ・関連団体が主催する研修会に参加し情報収集を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年7月 全国信用金庫協会主催「地域密着型金融推進計画」等に関する説明会へ職員2名派遣 ・18年1月 中小企業金融公庫によるCLO庫内説明会を実施 ・18年4月 商工中金が取組む「流動資産一体担保型融資」について勉強会を実施 ・18年9月 信金中金による「信用金庫保証付私募債」の勉強会を実施 ・売掛債権担保融資保証の推進(18年9月末現在、実績69件、175,020千円) 			
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化						
顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修の実施 ・内部監査部門による説明態勢の検証 ・内部規則の検証 ・コンプライアンス室による相談苦情対応 ・苦情の分析・営業店への還元 ・金融円滑化会議の活用 ・苦情の受付状況を常勤理事会へ報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修の実施 ・内部監査部門による説明態勢の検証 ・内部規則の検証 ・コンプライアンス室による相談苦情対応 ・苦情の分析・営業店への還元 ・金融円滑化会議の活用 ・苦情の受付状況を常勤理事会へ報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修の実施 ・内部監査部門による説明態勢の検証 ・内部規則の検証 ・コンプライアンス室による相談苦情対応 ・苦情の分析・営業店への還元 ・金融円滑化会議の活用 ・苦情の受付状況を常勤理事会へ報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修の実施 ・内部監査部門による説明態勢の検証 ・内部規則の検証 ・コンプライアンス室による相談苦情対応 ・苦情の分析・営業店への還元 ・金融円滑化会議の活用 ・苦情の受付状況を常勤理事会へ報告 ・臨店事務指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修の実施 ・内部監査部門による説明態勢の検証 ・内部規則の検証 ・コンプライアンス室による相談苦情対応 ・苦情の分析・営業店への還元 ・金融円滑化会議の活用 ・苦情の受付状況を常勤理事会へ報告 ・臨店事務指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年6月、7月、9月、11月、18年3月、6月、7月、9月 融資担当役員者会議開催「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規則」及び「与信取引に関する説明手順」について周知徹底する ・17年8月、12月、18年2月、4月、7月 苦情の受付状況を常勤理事会に報告する ・17年9月、18年1月、9月 コンプライアンス担当者集合研修会(17年9月35名参加、18年1月32名参加、9月33名参加)において、苦情の実例を還元する ・17年9月 部店長会議において苦情の実例を還元する ・17年9月、18年3月、9月 金融円滑化会議に参加 ・コンプライアンス室による相談苦情対応を継続実施する ・審査部及びコンプライアンス室による臨店事務指導を実施する

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(6)人材の育成						
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士・ファイナンシャルプランナー養成に努める ・関連団体主催の研修会に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士・ファイナンシャルプランナー養成のための通信講座受講 ・関連団体主催の研修会に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度取組みの検証及び効果的施策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士・ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のための通信講座受講(平成17年度10名、平成18年度12名) ・関連団体主催の研修会への参加 ・庫内研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士・ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のための通信講座受講(平成18年度12名) ・関連団体主催の研修会への参加 ・庫内研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士・ファイナンシャルプランニング技能士資格取得のための通信講座受講(平成17年度10名、平成18年度12名) ・2級ファイナンシャルプランニング技能士3名取得 ・関連団体主催の研修会への参加 ・庫内研修(外部講師を招聘) ・17年6月 第1回新規開拓法人融資渉外研修実施 ・17年9月 第2回新規開拓法人融資渉外研修実施 ・18年1月 第3回新規開拓法人融資渉外研修実施 ・18年3月 第4回新規開拓法人融資渉外研修実施 ・18年4月 第1回新規開拓法人融資渉外研修実施 ・18年6月 第2回新規開拓法人融資渉外研修実施 ・18年8月 第3回新規開拓法人融資渉外研修実施
2. 経営力の強化						
(1)リスク管理態勢の充実						
適切な自己査定及び償却・引当の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・債務者の実態把握を行い、監査法人の指導のもと適切な償却・引当を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部による債務者の実態把握状況に関するヒアリング実施 ・各種研修の実施 ・監査法人との意見交換の実施 ・監査部門による検証 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度取組みの強化 ・研修会の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部による債務者の実態把握状況に関するヒアリング実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部による債務者の実態把握状況に関するヒアリング実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年5月～6月 既存債務者の管理状況の把握及び整理・回収方針を決定するため、営業店への臨店を実施 ・17年9月～10月 17年度2回目の管理債権の現状把握と整理・回収状況の確認等に関する営業店臨店を実施 ・17年12月 営業店自己査定研修を実施 ・17年12月 財務分析研修を実施 ・18年2月～3月 監査法人との意見交換の実施 ・18年1月～3月 監査部署による、けん制機能を発揮した検証の実施 ・18年3月 指定債務者に対する業況ヒアリングを実施 ・18年6月～7月 既存債務者の管理状況の把握及び整理・回収方針を決定するため、営業店への臨店を実施。 ・18年8月 指定債務者に対する業況ヒアリングを実施
市場リスク管理態勢の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・現行のシステムを活用し、リスクコントロールしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムの活用 ・ALM委員会で分析・検討 ・検討結果を理事会に報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムの活用 ・ALM委員会で分析・検討 ・検討結果を理事会に報告 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、ALM委員会において分析、検討を行い、検討結果は理事会に報告している 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、ALM委員会において分析、検討を行い、検討結果は理事会に報告している 	<ul style="list-style-type: none"> ALM委員会において分析、検討を行い、検討結果は理事会に報告している

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
情報開示の拡充に係る適切な体制整備	業界の動向及び参考事例等を参考にして情報開示を行っていく	・平成16年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始 ・半期開示は11月に予定	前年の取組みを強化	・平成16年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始、ホームページにも掲載 ・平成17年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始、ホームページにも掲載	・平成17年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始、ホームページにも掲載	・平成16年度のディスクロージャー誌は、平成17年7月26日に縦覧開始し、ホームページにも掲載した ・平成17年度上期ディスクロージャー誌を作成し、平成17年11月30日に縦覧開始し、ホームページにも掲載した ・平成17年度ディスクロージャー誌は、平成18年7月27日に縦覧開始し、ホームページにも掲載した
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上						
収益管理態勢の整備と収益力の向上	・リスクに応じた金利設定のための内部基準を整備する ・中小企業信用リスクデータベース(SDB)の導入による格付精度の向上を図る ・スコアリングモデルの構築	・リスクに応じた金利設定のための内部基準を整備する ・企業信用格付システム(SSC)の有効活用によるリスクに応じた金利設定の算出 ・スコアリングモデルの構築検討	・リスクに応じた金利設定のための内部基準を整備する ・中小企業信用リスクデータベース(SDB)の導入による格付精度の向上を図る ・スコアリングモデルの構築	・精度の高い信用リスク量の把握に努めている	・精度の高い信用リスク量の把握に努めている	・17年9月 自己査定法人抽出先781先の格付けを行い、整合率72.98%を確保 ・17年11月 SDB(中小企業信用リスクデータベース)を導入 ・18年3月 SDB(中小企業信用リスクデータベース)格付836先を実施 ・18年6月 (株)オービック主催「総合融資審査支援システム研究セミナー」へ職員2名派遣 ・18年9月現在、自己査定法人抽出先775先の格付けを行う。(整合率67.87%)
(3) ガバナンスの強化						
半期開示の実施	今後の業界動向にも注視しながら、開示情報を充実させる	・平成16年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始 ・半期情報ディスクロージャー誌は、11月までに開示予定	前年度取組み強化	・平成16年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始、ホームページにも掲載 ・平成17年度上期ディスクロージャー誌は、11月に縦覧開始、ホームページにも掲載 ・平成17年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始、ホームページにも掲載	・平成17年度ディスクロージャー誌は、7月に縦覧開始、ホームページにも掲載	・平成16年度のディスクロージャー誌は、平成17年7月26日に縦覧開始し、ホームページにも掲載した ・平成17年9月期の半期ディスクロージャー誌は、平成17年11月30日に縦覧開始し、ホームページにも掲載した ・平成17年度ディスクロージャー誌は、平成18年7月27日に縦覧開始し、ホームページにも掲載した
総代会の機能強化に向けた取組み	・関連団体の総代会機能向上策の検討結果を踏まえて、対応する予定	・関連団体の総代会機能向上策の検討結果を踏まえて、対応する予定	・関連団体の総代会機能向上策の検討結果を踏まえて、対応する予定	平成16年度、17年度ディスクロージャー誌に「総代会の仕組み」、「総代の選考方法」、「総代候補者選考基準」、「総代会の決議事項等」、「総代の氏名」を開示している	平成17年度ディスクロージャー誌に「総代会の仕組み」、「総代の選考方法」、「総代候補者選考基準」、「総代会の決議事項等」、「総代の氏名」を開示している	平成16年度、平成17年度ディスクロージャー誌に「総代会の仕組み」、「総代の選考方法」、「総代候補者選考基準」、「総代会の決議事項等」、「総代の氏名」を開示している

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(4)法令遵守(コンプライアンス)態勢の強化						
営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修の実施 ・モニタリングの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修を引き続き実施する ・コンプライアンス・チェックリストを利用したコンプライアンスチェックの実施 ・コンプライアンス担当者による各部署における監視 ・監査部と連携した監査の実施 	前年の取組みを継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修を引き続き実施する ・コンプライアンス・チェックリストを利用したコンプライアンスチェックの実施 ・コンプライアンス担当者による各部署における監視 ・臨店指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研修を引き続き実施する ・コンプライアンス・チェックリストを利用したコンプライアンスチェックの実施 ・コンプライアンス担当者による各部署における監視 ・臨店指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年9月 コンプライアンス担当者集合研修会実施(35名参加) ・毎月の定例報告として、コンプライアンス担当者から、「コンプライアンス・実施報告書」の報告を継続して受けている ・17年5月、10月、18年5月 全役職員を対象として、コンプライアンス・チェックリストを利用したコンプライアンスチェックを実施 ・18年1月 コンプライアンス担当者集合研修会実施(32名参加) ・18年3月 新入職員コンプライアンス(入庫前)研修を実施 ・18年3月 監査部の内部監査結果を踏まえて、3店舗の臨店指導を実施 ・18年7月 保険販売及び投信販売に関するコンプライアンス研修会実施(36名参加) ・18年8月 監査部の内部監査結果を踏まえて、5店舗の臨店指導を実施 ・18年9月 コンプライアンス担当者集合研修会実施(33名参加)
適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・自主点検の実施 ・監査部による監査の実施 ・教育研修の実施 ・技術的安全管理措置をさらに構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主点検の実施 ・監査部による監査の実施 ・教育研修の実施 ・技術的安全管理措置をさらに構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主点検の実施 ・監査部による監査の実施 ・教育研修の実施 ・技術的安全管理措置をさらに構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主点検の実施 ・監査部による監査の実施 ・教育研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主点検の実施 ・監査部による監査の実施 ・教育研修の実施 ・指紋認証システム導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年7月～9月 個人情報保護研修会実施 ・17年7月より 個人情報保護に関する自主点検を実施 ・17年10月より 利用者の識別及び認証措置の精度を高めました ・監査部の内部監査において顧客情報管理状況の監査を実施 ・平成18年8月 コンプライアンス室により5店舗を臨店指導する。 ・平成18年8月 パソコンの情報管理について、指紋認証システムを導入する。

項目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(5)ITの戦略的活用						
ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への教育研修の実施 ・ALMスキル向上のため共同事務センターに職員を派遣する ・ポータルサービスの利用推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMスキル向上のため共同事務センターに職員を派遣する ・教育研修の実施 ・ALM活用に向けたデータ整備を行う ・ポータルサービスのPR方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMの精度をチェックし活用する ・ポータルサービスのPRを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMスキル向上のため共同事務センターに職員を派遣する ・新ALM導入のために共同事務センターより講師を招聘し研修を実施 ・ALMシステムの有効活用のためのデータの蓄積を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMシステムの有効活用のためのデータの蓄積を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALMスキルの向上を図るために、平成17年8月に共同事務センターに該当職員を3名派遣 ・平成17年10月 新ALMシステム導入のために、共同事務センターより職員を招聘し担当者の研修を実施 ・新ALM導入のために共同事務センターより講師を招聘し研修を実施 ・ALMシステムの有効活用のためのデータの蓄積を行っている
(6)協同組織中央機関の機能強化						
協同組織中央機関の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中央金庫が行っている決算分析等については、ALM委員会における検討資料として有効活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALM委員会における検討資料として有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALM委員会における検討資料として有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALM委員会における検討資料として有効活用 ・リスク管理強化のための研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALM委員会における検討資料として有効活用 ・リスク管理強化のための研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・17年9月のALM委員会で、信金中央金庫からの経営分析資料を検討 ・17年8月に新ALMシステム研修受講のため、東京共同事務センターへ3名派遣 ・17年10月に新ALMシステム導入のために、共同事務センターより職員を招聘し、担当者の研修を実施 ・18年6月に信金中央金庫より講師を招聘し研修を実施
3.地域の利用者の利便性向上						
(1)地域貢献に関する情報開示						
地域貢献に関する情報開示 地域貢献に関する充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー、及びホームページに掲載し、情報開示を行う ・情報開示にあたっては、単に計数の羅列に留まることなく自金庫の思いや方針、スタンスをメッセージ性のある表現で訴える 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度のディスクロージャーは、7月26日に縦覧開始、ホームページにも掲載した ・平成17年9月期の半期情報ディスクロージャーは、本年11月末までに開示、ホームページにも掲載する 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の取組みを継続し、より一層強化していく方針 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度のディスクロージャーを縦覧開始し、ホームページにも掲載した 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成16年度のディスクロージャーを縦覧開始し、ホームページにも掲載した 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年7月26日 平成16年度のディスクロージャーを縦覧開始し、ホームページにも掲載した ・平成17年9月期の半期情報ディスクロージャーは、平成17年11月30日に縦覧開始、ホームページにも掲載した ・平成17年度ディスクロージャーは、平成18年7月27日に縦覧開始、ホームページにも掲載した

項 目	具体的な取組み	スケジュール		進捗状況		備 考(計画の詳細)
		17年度	18年度	17年4月～18年9月	18年3月～18年9月	
(3)地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立						
地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	従来の苦情・相談態勢に加え、利用者満足度の把握方法を検証したうえで、利用者の声を経営に反映にさせる施策について検討し、併せて業務等に改善が必要な事項は、適切に改善を図り、その内容をできる限り公表する	・苦情・相談等を常勤理事会に報告する ・コンプライアンス研修会で苦情・相談の改善策の周知徹底を図る ・利用者満足度のアンケートを実施し、その結果を踏まえ改善策を検討する	・17年度に行った改善事例について、平成18年6月末までに公表の予定 ・前年の取組みを継続実施	・苦情・相談等を常勤理事会に報告する ・コンプライアンス研修会で苦情・相談の改善策の周知徹底を図る ・利用者満足度のアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた改善策を実施・公表する	・苦情・相談等を常勤理事会に報告する ・コンプライアンス研修会で苦情・相談の改善策の周知徹底を図る ・利用者満足度のアンケート結果を踏まえた改善策を実施・公表する	・17年8月、12月、18年2月、4月、7月 苦情の受付状況を常勤理事会に報告する ・17年9月 コンプライアンス担当者集合研修会(35名参加)において、苦情の実例を還元し、改善策の検討を行う ・18年1月 コンプライアンス担当者集合研修会(32名参加)において、苦情の実例を還元し、改善策の検討を行う ・18年1月 利用者満足度のアンケート調査を実施 ・18年3月 利用者満足度のアンケート結果を踏まえた改善策を決定する ・18年5月 アンケート結果を踏まえ、店内マナー研修を実施する ・18年6月 アンケート結果及び改善策を公表する ・18年7月 外部講師を招聘しマナー研修を実施する ・18年9月 コンプライアンス担当者集合研修会(33名参加)において、苦情の実例を還元し、改善策の検討を行う
(4)地域再生推進のための各種施策との連携等						
地域再生推進のための各種施策との連携等	・行政が行う地域再生支援の現状把握 ・PFI事業等各種施策の情報収集	・行政が行う地域再生支援の現状把握 ・PFI事業等各種施策の情報収集	・行政が行う地域再生支援の現状把握 ・PFI事業等各種施策の情報収集	・当金庫の営業地域において、PFI事業の情報は得られていない	・当金庫の営業地域において、PFI事業の情報は得られていない	・PFI事業等各種施策の情報収集
4. 推進状況の公表						
推進状況の公表	・ディスクロ誌及びホームページで半期毎に公表する ・地域貢献に対する取組み方針及び考え方を図解等を用いて分かりやすく公表する	・平成17年9月期における取組状況は、本年11月までに公表の予定	・平成18年3月期における取組状況は、平成18年6月末までに公表の予定 ・平成18年9月期における取組状況は、平成18年11月までに公表の予定	・従来の取組みを継続し、平成16年度のディスクロ誌は、平成17年7月26日に縦覧開始し、ホームページに掲載 ・平成17年度のディスクロ誌は、平成18年7月27日に縦覧開始し、ホームページに掲載	・従来の取組みを継続し、平成17年度のディスクロ誌は、平成18年7月27日に縦覧開始し、ホームページに掲載	・従来の取組みを継続し、平成16年度のディスクロ誌は、平成17年7月26日に縦覧開始し、ホームページに掲載 ・平成17年9月期のディスクロ誌は、平成17年11月30日に縦覧開始し、ホームページに掲載 ・平成17年度のディスクロ誌は、平成18年7月27日に縦覧開始し、ホームページに掲載